

2015年6月1日

スバル「アイサイト」を搭載する CROSSOVER 7 が 予防安全性能アセスメントにおいて最高ランクの JNCAP「先進安全車プラス(ASV+)」を獲得

このたび、スバル独自の運転支援システム「アイサイト」を搭載する CROSSOVER 7 (正式名称: EXIGA CROSSOVER 7)*1 が国土交通省と独立行政法人 自動車事故対策機構(NASVA)*2 が実施する予防安全性能アセスメントにおいて、評価点で 46 点満点中 45.9 点を獲得し、最高ランクである JNCAP*3「先進安全車プラス(ASV+)*4」を獲得しました。

2015 年度予防安全性能アセスメントは、2014 年度の評価対象となっている衝突被害軽減制動制御装置(AEBS)*5[対車両]と車線逸脱警報装置(LDWS)*6に加え、ドライバーが直接確認することが困難な後方の視界情報を車内のモニターに映し出す装置(バックビューモニター)の評価として、後方視界情報提供装置の試験を実施。2 点以上の場合には「先進安全車(ASV)」、12 点以上の場合には「先進安全車プラス(ASV+)」として選定され、CROSSOVER 7 は 45.9 点で、「ASV+」を獲得しました。

スバル車は、2014 年度に実施された予防安全性能アセスメントにおいて、レヴォーグ*7/WRX S4*7(40 点)、フォレスター*1(39.9 点)、SUBARU XV HYBRID*1(39.3 点)、レガシィ アウトバック/B4*7(40 点)、インプレッサ*7/SUBARU XV*7(40 点)でも「ASV+」に選定されています。CROSSOVER 7 の「ASV+」獲得により、アイサイトを搭載するすべての車種が「ASV+」を獲得したことになり、アイサイトの予防安全性能の高さが実証されました。

富士重工業は、ブランドステートメントである“Confidence in Motion”を通じて、スバルならではの「安心と楽しさ」の提案を掲げています。この「安心と楽しさ」を支える重要な要素である「安全」を、ALL-AROUND SAFETY の考え方の基に、0 次安全、アクティブセーフティ、プリクラッシュセーフティ、パッシブセーフティの各技術進化により実現していきます。

<ご参考>

■試験結果詳細(NASVA ホームページ)

http://www.nasva.go.jp/mamoru/active_safety_search/list_all.html

■スバルオフィシャルウェブサイト(スバルの総合安全)

<http://www.subaru.jp/safety/>

*1: アイサイト(ver.2)搭載車

*2: National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid

*3: Japan New Car Assessment Program

*4: Advanced Safety Vehicle +

*5: Autonomous Emergency Braking System

*6: Lane Departure Warning System

*7: アイサイト(ver.3)搭載車



先進安全車プラス(ASV+)

